Device Control アプリ 取扱説明書

June 2025, 1^{st} Edition

目次

目次
はじめに
Device Controlアプリとは2
記載内容について
準備
DC アプリ対応モデル
管理用端末の準備
QR コードを利用して DC アプリをインストールする4
ポリシー
ポリシーの作成
ポリシーの編集
ポリシーの確認
ポリシーの名前の変更
ポリシーの削除
詳細設定
配布用端末の準備
DC アプリのインストール
配布用端末へのポリシーの転送 12
QR コードを使用した配布用端末へのポリシーの転送12
配布用端末のポリシー管理 12
DC アプリの管理14
アプリのアップデート
登録ユーザーの削除14
アプリのアンインストール
ポリシー作成例
重要な注意事項
設定例 1
設定例 215
ポリシーの制限と機能

はじめに

Device Control アプリとは

Device Control アプリ(以下「DC アプリ」と表記します)は小規模オフィス向けに開発した端末 管理アプリです。京セラの MDM 機能を利用することで、携帯電話の機能を制限し、業務に最適な 状態にすることができるサポートツールです。 誤った設定や設定の組み合わせは意図しない結果 を招き、端末の動作を停止させる可能性があります。

端末の制御は主に企業の IT 管理者またはアカウント管理者の端末管理支援を目的としています。 これは、すべての端末が一貫した制御された構成を持つことを保証するための費用対効果の高い 方法を提供します。

記載内容について

端末を管理するための方法及び、それを配布用端末へ配布するために必要な基本情報を提供します。

- 管理用端末の準備
 - 管理者がポリシーを設定します
- ポリシー の作成
 - 特定の端末構成(機能の有効/無効)を作成します
- 配布用端末の準備
 - 作業者へ配布用に管理用端末のセットアップ内容を複写します
- 配布用端末へポリシーの転送

この取扱説明書は、DC アプリ Ver.6.0.2 を元に記載しています。 この取扱説明書に記載の操作 方法は、端末のソフトウェアバージョンやアプリのバージョンによって変わることがあります。

準備

以下のものを準備してください。

- 登録済みユーザーアカウントとパスワード
 - DC アプリを使用するには、ユーザーアカウントのメールアドレスとパスワードを京セラに登録する必要があります。
 https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/phone/rd/dcapp.html ヘアクセスして登録してください。

- DC アプリ対応京セラ製端末
 - 。 管理用端末
 - 。 配布用端末
- DC アプリ
 - DC アプリをインストールするには、次の QR コードと「管理用端末の準備」の手順を 参照してください。



DC アプリ対応モデル

京セラ製のDCアプリ対応モデルについての最新の情報は、 https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/phone/concept/solution/dcapp.html をご確認ください。



管理用端末は、アカウント管理者がポリシーを作成するために使用します。 最大 30 のポリシー を端末に保存できます。管理用端末から QR コードを利用して配布用端末に DC アプリや作成した ポリシーをコピーすることができます。

QR コードを利用して DC アプリをインストールする

京セラから提供される QR コードを使用して、DC アプリを工場出荷時の状態の端末にインストール します。 DC アプリを端末にインストールし、端末所有者モードに設定します。

- 1. 管理者用端末が出荷時の状態であることを確認する
 - すでに端末の電源を入れているときは、「すべてのデータを消去(出荷時リセット)」
 を行い、出荷時の状態にする
- 2. 電源ボタンを長押しする
- 3. 管理用端末に 「日本語(日本)」が出ていることを確認する
- 4. 画面上の任意の空白個所を数回タップする
 - QR コードリーダーが立ち上がる
- 5. 京セラが提供する QR コードを読み取る
 - Wi-Fi[®] 設定画面が表示される
- 6. [Wi-Fiの使用]または ON/OFF 設定をタップして「Wi-Fiの使用」を[ON]にする
- 7. 接続する Wi-Fi ネットワーク名をタップする
- 8. 必要に応じて[パスワードを入力] → [接続] → [次へ]
 - 「端末を設定してください」が表示される
- 9. [メッセージを読む] → [**同意して続行**]
 - 「**仕事用端末を設定中**」が表示されるので、画面の案内に従い操作する
- 10. [Device Control] アプリを立ち上げる
- 11.「ソフトウェア使用許諾契約」と「情報収集」に同意する
 - a. [ソフトウェア使用許諾契約] → 「ソフトウェア使用許諾契約」を読む → [OK]
 - b. [**情報収集**] → 「情報収集」を読む → [**0K**]
 - c. 同意できれば、[同意する] をタップする

12. 「インフォメーション」 (Device Config Plugin のインストール) に同意する

a. 「インフォメーション」を読む → [**OK**]

13. DC アプリ用の[メールアドレス]と[パスワード]を入力する

注意 : [メールアドレス]と[パスワード]は https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/phone/rd/dcapp.html で登録したメール アドレスとパスワードです。

- 業種を教えてください メニューが出る
- 14. [(**未選択**)] → 「業種を選択」 → [OK]



ポリシーとは、特定のデバイス構成を作成するための一連の設定(制限と機能)です。 最大 30 個の異なるポリシーを保存できますが、有効にできるポリシーは1つだけです。 各ポリシーには 名前を付けることができ、保存、編集、確認、名前の変更、または削除を行うことができます。 たとえば、ホテルでは、「ハウスキーピング」、「メンテナンス」、や「管理」のために別々の ポリシーを作成する場合があります。 各ポリシーには、端末の動作を制御するさまざまな設定の グループが含まれています。 ハウスキーピングスタッフ用の装置を準備するときには、「ハウス キーピング」ポリシーのみが配布装置に転送されて有効化されます。 ポリシーのサンプルは「**ポ リシー作成例**」に記載しています。

ポリシーの作成

- 1. [Device Control] アプリを立ち上げる
- 2. [管理用端末]→ [ポリシー作成/編集]→ [新規作成]

- または -

[ポリシー管理] → [上]

【ポリシーの名前を入力】→ [OK]

注意:同じ名前のポリシーを作ることはできません。

4. 制限する項目または[詳細設定]をタップする

例: Bluetooth[®]機能全体を無効にする

- a. [Bluetooth 無効] または ON/OFF 設定をタップして Bluetooth 無効を[ON] にする
- 5. [保存]
 - 設定した内容が表示される
 - 注意: "データの初期化の無効化" は初期設定でオンになっています。
- 6. [保存]

ポリシーの編集

- 1. [Device Control] アプリを立ち上げる
- 2. [管理用端末]→ [ポリシー作成/編集]→ [一覧から選ぶ]

- または -

[ポリシー管理]をタップしてポリシーメニューを開く

- 3. 編集するポリシー設定をタップする
- 4. [編集]
- 5. 制限する項目もしくは、[詳細設定]をタップして編集する
- 6. [保存]
 - 設定した内容が表示される
- 7. 制限事項の一覧を確認する
- 8. [保存]

ポリシーの確認

- 1. [Device Control] アプリを立ち上げる
- 2. [管理用端末]→[ポリシー作成/編集]→[一覧から選ぶ]
 - または -

[ポリシー管理]をタップしてポリシーメニューを開く

- 3. 内容を確認するポリシーをタップする
- 4. [項目レビュー]
 - 設定内容が表示される
- 5. [OK]

ポリシーの名前の変更

- 1. [Device Control] アプリを立ち上げる
- 2. [管理用端末]→ [ポリシー作成/編集]→ [一覧から選ぶ]
 - または -

[ポリシー管理]をタップしてポリシーメニューを開く

- 3. 名前を変更するポリシーをタップする
- 4. [名前変更]
- 5. [新しい名前を入力] → [OK]

注意:同じ名前のポリシーを作ることはできません。

ポリシーの削除

- 1. [Device Control] アプリを立ち上げる
- 2. [管理用端末] → [ポリシー作成/編集] → [一覧から選ぶ]

- または -

[ポリシー管理]をタップしてポリシーメニューを開く

- 3. 削除するポリシーをタップする
- 4. [削除]
- 5. 確認して [削除]をタップする

詳細設定

詳細設定では、機能のオン/オフだけでなく詳細な設定が可能です。

注意:「詳細設定では、機能のオン/オフだけでなく詳細な設定も可能ですが、デバイスの使いや すさに大きな影響を与える可能性があります。 これらの設定を誤って変更すると、重要なデー タの損失、工場出荷時の状態へのリセットまたは、端末が使用できなくなる可能性があります。

詳細設定の項目については、「ポリシーの制限と機能」を参照ください。

次の手順で詳細設定を有効にできます。

- 1. [Device Control] アプリを立ち上げる
- 2. [管理用端末]→ [ポリシー作成/編集]→ [新規作成]

- または -

[ポリシー管理] → [上]

- 3. [ポリシーの名前を入力] → [OK]
- 4. [詳細設定]
- 5. 設定する項目をタップし、タイトルまたは ON/OFF 設定をタップしてオンにする
 - 例: Bluetooth テザリングを無効にする
 - a. [Bluetooth]

- b. [**テザリングの無効化**] または ON/OFF 設定をタップして、「テザリングの無効化」 をオンにする
- 6. 必要な設定が終わるまで、ステップ5を繰り返す
- 7. [保存]
 - 設定した内容が表示される

注意: "データの初期化の無効化" は初期設定でオンになっています。

8. [保存]

配布用端末の準備

配布用端末へは特定の設定ポリシーを入れて使用者に配布することができます。端末の機能を設定し制限を適用するには、正しくプロビジョニングする必要があります。 プロビジョニングプロ セスを開始するには、管理用端末の「プロビジョニング」で QR コードを使用する方法を選択しま す。

DCアプリのインストール

く配布用端末の操作〉

- 1. 出荷時の状態であることを確認する
 - すでに端末の電源を入れているときは、「すべてのデータを消去(出荷時リセット)」を行い、出荷時の状態にする
- 2. 電源ボタンを長押しする
- 3. 「日本語(日本)」が出ていることを確認する
- < 管理用端末の操作 >
- 4. [Device Control] アプリを立ち上げる
 - a. 必要に応じて、メールアドレスとパスワードを入力し、[サインイン]をタップする
- 5. [管理用端末] \rightarrow [プロビジョニング] \rightarrow [QR コードプロビジョニング]
- 6. 必要に応じて、「Wi-Fi ネットワーク名」、「Wi-Fi セキュリティタイプ」及び「Wi-Fi パス ワード」を入力する
- 7. [システムアプリの無効化をスキップします] をタップして「システムアプリの無効化をスキ ップします」をオンにする
- 8. [QRコード生成]
 - QR コードが表示される

< 配布用端末の操作 >

- 9. 画面上の任意の空白個所を数回タップする
 - QR コードリーダーが立ち上がる
- 10. 管理者用端末に表示されている QR コードを読み取る

- 11. Wi-Fi 設定メニューが出たら Wi-Fi を設定し、[次へ]をタップする
- 12. "端末を設定してください" を読み、了承したら[同意して続行]をタップする
- 13. 画面の指示に従い端末の設定をする

注意:DCアプリを初めて立ち上げたとき、「**インフォメーション**」ダイアログ(Device Config Pluginのインストールの同意)が表示されるので[**OK**]をタップする。

配布用端末へのポリシーの転送

QR コードを使用した配布用端末へのポリシーの転送

- く 管理用端末の操作 >
- 1. [管理用端末] → [ポリシー送信] → [QR コード]
- 2. 転送するポリシーをタップする
- 3. [OK]
 - QR コードが表示される
- < 配布用端末の操作 >
- 4. [配布用端末] → [ポリシー受信] → [QR コード]
 - QR コードリーダーが立ち上がる
- 5. 管理者用端末に表示されている QR コードを読み取る
 - 成功したら「成功 "OO"を作成しました。」が表示される
- 6. [OK]

配布用端末のポリシー管理 ポリシーを有効にする

- 1. [Device Control] アプリを立ち上げる
- 2. [配布用端末] → [ポリシー実行]

[ポリシー管理]

- 3. 有効にするポリシーをタップする
- 4. [実行]
 - 注意:有効にできるポリシーは1つだけです。新しいポリシーを有効にした場合、現在有効 になっているポリシーは無効になります。

⁻ or -

- 5. 終了したら[サインアウト]をタップする
 - 注意:サインアウトをタップするまでユーザーは管理者権限を持ちポリシーを無効にすることができます。

ポリシーを無効にする

- 1. [Device Control] アプリを立ち上げる
- サインインメニューが表示されたら、メールアドレスとパスワードを入力し、[サインイン]を タップする
 - 実行中のポリシーが表示される
- 3. [停止]

DC アプリの管理



- 1. [Device Control] アプリを立ち上げる
- 2. [₺] → [設定]
- 3. [アップデートをチェック]
 - Google Play ストアの DC アプリのダウンロード画面が表示される
 - Google Play にサインインしていない場合、サインインメニューが表示される
- 4. 画面に従い操作する

登録ユーザーの削除

- 1. [Device Control] アプリを立ち上げる
- 2. [Ё] → [設定]
- 3. [登録ユーザーの削除]
 - 削除確認画面が表示される
- 4. [OK]
- 注意:登録ユーザーの削除を実行すると適用中のポリシーは解除されます。

アプリのアンインストール

DC アプリをアンインストールするには、端末を初期化(工場出荷状態)にしてください。

注意:データの初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。 データの初期化を 実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。

ポリシー作成例

例題は、特定の顧客の要件を満たすようにポリシーを構築するために複数の制限と機能を選択で きることを示しています。 これらの例題は意図的に単純化しており、1 つのポリシーのみを表し ています。 DC アプリは、指定された一連の要件を満たすために使用できるさまざまな設定、制 限、機能を公開します。

ー部の設定または設定の組み合わせ(特に「詳細設定」で公開されている設定)は、デバイスの 操作性に重大な影響を与える可能性があることに注意してください。

重要な注意事項

DC アプリのポリシーによって提供される設定と制限は、ユーザーが割り当てられた構成を変更または回避できない場合にのみ有効です。 次の各サンプルでは、ユーザーが「設定」メニューのオプションを使用して電話をリセットできないようにするために、「データの初期化の無効化」が 選択されています。 電話機を工場出荷時の状態に初期化することは、ユーザーがポリシーを回避 する方法の一例です。 技術的なスキルとユーザーの決定に応じて、目的のポリシーが有効である ことを保証するために、追加の設定と高度な方法が必要になる場合があります。

設定例 1

シナリオ:宅配便業者は、街中に荷物を配達するトラックを所有しています。 宅配業者はオフィ スに連絡できるようにドライバーに端末を提供したいと考えています。 しかし、ドライバーに GPS 設定を変更させたくありません。

端末制御の制限

カテゴリー	タイトル	設定内容
位置情報	位置情報設定の有効化	位置情報設定を強制的に有効にします
リセット	データの初期化の無効化	データの初期化を無効にします

設定例 2

シナリオ:建設会社は、すべての労働者に端末を提供することを計画していますが、インストールされているアプリを使用して時間を無駄にさせたくありません。

注意

DC アプリには、ユーザーが使用できるアプリケーションを制限するための複数の方法が用意されています。 各方法の意味と、それがユーザーに与える影響を理解することが重要です。 たとえば、単一のアプリケーションを無効にすると、他の依存アプリケーションが正常に動作しなくなる場合があります。

端末制御の制限

カテゴリー	タイトル	設定内容
アプリ	アプリの起動制限	起動制限アプリリストのアプリの起動を制限し ます
アプリ	起動制限アプリリスト	起動制限アプリリストの管理(リストから起動 制限するアプリケーションを選択します)
リセット	データの初期化の無効化	データの初期化を無効にします

設定例 3

シナリオ:飲食店でタブレットを導入する際に、お客様には決まったアプリ以外操作できないようにしたいと考えています。利用するアプリはオーダー用のメニューアプリと子供に遊んでもらうためのゲームアプリで、ゲームアプリにはメニューアプリから起動できるようにしたいです。

端末制御の制限

カテゴリー	タイトル	設定内容
端末/Kiosk 設定	Kiosk モードの有効化	Kiosk モードを有効化します
	Kiosk アプリの選択	メニューアプリを選択して Kiosk モード中 にメニューアプリのみが起動するように設 定します
	アプリ連携の許可	Kiosk モード中のアプリ連携を許可し、メ ニューアプリからゲームアプリを起動でき るように設定します

ポリシーの制限と機能

制限機能一覧

タイトル		内容
Wi-Fiの無効化 *1		すべてのWi-Fi機能を無効にするかどうかを設 定します
Bluetooth の無効化		すべてのBluetooth機能を無効にするかどうか を設定します
NFC の無効化 *1		NFC 機能を無効にするかどうかを設定します
カメラの無効化		カメラを無効にするかどうかを設定します
不明なアプリのイン	マストールを禁止	提供元不明アプリのインストールを制限する かどうかを設定します
USB ファイル転送の無効化		パソコンとUSBケーブルで接続した時にファイ ル転送(ファイル・写真の転送)を無効にす るかどうかを設定します
SD カードのマウント操作を禁止		SD カードを装着した時にマウント操作を無効 にするかどうか設定します。 既に SD カードが端末にマウントされている場 合は無効になりません。
モバイルデータの無効化 *1		モバイルデータ通信を無効にするかどうかを 設定します
カテゴリー	タイトル	内容
着信制限	着信の制限 *1	着信を制限するかどうかを設定します
	電話帳を除く *1	着信制限の対象から電話帳登録済みの番号を 除外するかどうかを設定します
	許可リスト番号 *1	着信制限の対象から許可リストに登録した番 号を除外するかどうかを設定します
発信制限	発信の制限 *1	発信を制限するかどうかを設定します
	電話帳を除く *1	発信制限の対象から電話帳登録済みの番号を 除外するかどうかを設定します
	許可リスト番号 *1	発信制限の対象から許可リストに登録した番 号を除外するかどうかを設定します

制限機能一覧(詳細設定)

カテゴリー	タイトル	内容
Wi-Fi	Wi-Fi 制限	
	Wi-Fiの無効化 *1	すべての Wi-Fi 機能を無効にするかどうかを設定します
	オープンネットワークの 無効化 *1	セキュリティで保護されていない Wi-Fi アクセスポイ ントへの接続を無効にするかどうかを設定します
	セットアッフの無効化 *1	WI-FI アクセスホイントの追加や編集を禁止するかどうかを設定します
	テザリングの無効化 *1	Wi-Fi テザリング機能を無効にするかどうかを設定し ます
Bluetooth	Bluetooth 制限	
	Bluetoothの無効化	すべての Bluetooth 機能を無効にするかどうかを設定 します
	テザリングの無効化 *1	Bluetooth テザリング機能を無効にするかどうかを設 定します
	Bluetooth 設定の変更を 禁止	設定アプリから Bluetooth 設定の変更操作を無効にす るかどうかを設定します
	HFP プロファイルのみ許 可 *1	Bluetooth プロファイルの利用を制限するかどうかを 設定します。制限中に利用可能なプロファイルは個別 に設定できます。 このポリシーは HFP、HSP、MAP、PBAP プロファイルの 利用を許可します。許可していない他のプロファイル は利用できなくなります。
	オーディオプロファイル のみ許可 *1	Bluetooth プロファイルの利用を制限するかどうかを 設定します。制限中に利用可能なプロファイルは個別 に設定できます。 このポリシーは A2DP, AVRCP, HFP, HSP プロファイル の利用を許可します。許可していない他のプロファイ ルは利用できなくなります。
	データプロファイルのみ 許可 *1	Bluetooth プロファイルの利用を制限するかどうかを 設定します。制限中に利用可能なプロファイルは個別 に設定できます。 このポリシーは GATT, HID, MAP OPP PAN, PBAP プロ ファイルの利用を許可します。許可していない他のプ ロファイルは利用できなくなります。
	Bluetooth Class of Devic	ce/Service
	Class of Device/Service Fieldの指定 *1	端末の Class of Device/Service Field を指定した値 に変更します

緊急通知	有効設定	
	緊急速報の有効化 *1	緊急速報を強制的に有効にします
	重大通知の有効化 *1	重大通知を強制的に有効にします
	異常通知の有効化 *1	異常通知を強制的に有効にします
	無効設定	
	緊急速報の無効化 *1	緊急速報を強制的に無効にします
	重大通知の無効化 *1	重大通知を強制的に無効にします
	異常通知の無効化 *1	異常通知を強制的に無効にします
ネットワー キング	ネットワークの制限	
	VPN 設定の編集を禁止	VPN 設定の変更を無効にするかどうかを設定します
	グローバルプロキシ指定	グローバルプロキシを指定した値に変更します
端末	端末機能の制限	
	端末機能制限	
	SMS の無効化	SMS の送受信を無効にするかどうかを設定します
	NFC の無効化 *1	NFC 機能を無効にするかどうかを設定します
	ソフトウェアアップデー トの無効化 *1*2	ソフトウェアアップデートを無効にするかどうかを設 定します
	カメラの無効化	カメラを無効にするかどうかを設定します
	日付と時刻変更の禁止	日付と時刻の変更を禁止するかどうかを設定します
	通知パネルの無効化	クイック設定を含む通知シェードの表示を制限するか どうかを設定します。 ロック画面に表示される通知は制限されません。
	バイブレーションの無効 化 *1	バイブレーションを無効にするかどうかを設定します
	不明なアプリのインスト ールを禁止	提供元不明アプリのインストールを禁止するかどうか を設定します
	壁紙設定変更の禁止	壁紙設定の変更を禁止するかどうかを設定します
	電源オフの無効化 *1	端末の電源オフ操作を無効にするかどうかを設定しま す
	セーフモードの無効化	セーフモード機能の利用を無効にするかどうかを設定 します
	リカバリーモードの無効 化 *1	リカバリーモード機能の利用を無効にするかどうかを 設定します
	カーキット電源連動制限 /充電時自動電源 ON 制限 *1	カーキット接続と端末の電源 ON・OFF 動作を連動させ るかどうかを設定します。または、充電時自動電源 ON 機能を制限するかどうかを設定します。 設定した値を強制的に適用します。
	自動入力サービスの無効 化	アカウントやパスワードが必要な入力フォームでの自 動入力サービスを無効にするかどうかを設定します
	音量調整の無効化	すべてのボリュームをミュートするかどうかを設定し ます

マイクの無効化	マイク入力を無効にするかどうかを設定します。 ボイスレコーダーや通話時のマイク入力も無効になり ます。
スクリーンショットの制 限	画面キャプチャが許可されていない画面のスクリーン ショットの取得や画面の録画機能を制限するかどうか を設定します
クリップボードの無効化	コピー&ペースト操作を無効にするかどうかを設定し ます
Doze モードの無効化 *1	電池の最適化を無効にするかどうかを設定します
デバッグ機能の無効化	開発者オプションや USB デバッグを含むすべてのデバ ッグ機能を無効にするかどうかを設定します
通知制限	
クイック設定編集の禁止 *1	クイック設定の編集を無効にするかどうかを設定しま す
電池へのショートカット の無効化 *1	通知シェードから電池のショートカット起動を無効に するかどうかを設定します
USB 制限	
USB テザリングの無効化 *1	USB テザリングテザリング機能を無効にするかどうか を設定します
USB デバッグの無効化 *1	USB デバッグ機能を無効にするかどうかを設定しま す。開発者オプションは無効化しません。
USB ファイル転送の無効 化	パソコンと USB ケーブルで接続した時にファイル転送 (ファイル・写真の転送)を無効にするかどうかを設 定します
USB ホストの無効化 *1	USB 子機の接続を無効にするかどうかを設定します
SD カード制限	
SD カードのマウント操作 を禁止	SD カードを装着した時にマウント操作を無効にする かどうか設定します。 既に SD カードが端末にマウントされている場合は無 効になりません。
暗号化の有効化 *1	SD カードの暗号化を有効にするかどうかを設定します
キーコントロール	
キーイベント置換	
キーイベント置換の有効 化 *1	キー操作時に発行するインテントを指定します
キー制限	
履歴キーの無効化 *1	履歴キー押下を無効にするかどうかを設定します
電源ボタンの無効化 *1	電源ボタン押下を無効にするかどうかを設定します
ボリュームアップボタン の無効化 *1	ボリュームアップボタン押下を無効にするかどうかを 設定します

ボリュームダウンボタン の無効化 *1	ボリュームダウンボタン押下を無効にするかどうかを 設定します
ホームキー長押しの無効 化 *1	ホームキー長押下を無効にするかどうかを設定します
カメラボタンの無効化 *1	カメラボタン押下を無効にするかどうかを設定します
ダイレクトボタンの無効 化 *1	ダイレクトボタン押下を無効にするかどうかを設定し ます
ダイレクトボタン 2 の無 効化 *1	ダイレクトボタン 2 押下を無効にするかどうかを設定 します
外部スピーカーボタンの 無効化 *1	外部スピーカーボタン押下を無効にするかどうかを設 定します
SOS ボタンの無効化 *1	SOS ボタン押下を無効にするかどうかを設定します
アシスタントボタンの無 効化	アシスタントボタン押下を無効にするかどうかを設定 します
Kiosk 設定	
Kiosk 設定	
Kiosk モードの有効化	Kiosk モードを設定します。 Kiosk モードでは、Kiosk アプリの選択で選択したア プリのみを表示し、他のアプリは制限します。 Kiosk モードを解除する場合は端末の電源を OFF し、 再度電源を ON した時に表示される特別な画面(赤い 背景に KIOSK MODE と表示)を素早く 5 回をタップし ます。 タップしない場合、画面は約 10 秒で消去されます。
Kiosk アプリの選択	Kiosk モードで表示されるアプリを選択します
Kiosk モードの機能設定	
アプリ連携の許可	Kiosk モード中に Kiosk アプリに指定していないアプリの連携起動を許可するかを設定します
電源メニューの無効化	Kiosk モード中の電源ボタン長押しの電源メニューを 無効化するかどうかを設定します Kiosk モードを解除する際は端末のマニュアル等から 強制再起動の手順に従って再起動してください
システム情報の有効化	Kiosk モード中のシステム情報の表示を無効化するか どうかを設定します
画面ロックの有効化	Kiosk モード中に画面ロックを有効化するかどうかを 設定します
ホームボタンの有効化	Kiosk モード中にホームボタンを有効化するかどうか を設定します
通知の有効化	Kiosk モード中に端末の通知機能を有効化するかどう かを設定します 通知を有効化するにはホームボタンを有効にする必要 があります

電話	モバイルネットワークの制	限
	モバイルネットワークの制限	
	音声ローミングの無効化 *1	音声ローミングを無効にするかどうかを設定します
	データローミングの無効 化	データローミングを無効にするかどうかを設定します
	モバイルデータの無効化 *1	モバイルデータ通信を無効にするかどうかを設定しま す
	電話帳制限	
	電話帳制限	
	電話帳編集の無効化 *1	電話帳の登録や編集を無効にするかどうかを設定しま す
	着信制限	
	着信制限	
	着信の制限 *1	着信を制限するかどうかを設定します
	電話帳の登録番号を許可 *1	着信制限の対象から電話帳登録済みの番号を除外する かどうかを設定します
	許可リストの番号を許可 *1	着信制限の対象から許可リストに登録した番号を除外 するかどうかを設定します
	発信制限	
	発信制限	
	発信の制限 *1	発信を制限するかどうかを設定します
	電話帳の登録番号を許可 *1	発信制限の対象から電話帳登録済みの番号を除外する かどうかを設定します
	許可リストの番号を許可 *1	発信制限の対象から許可リストに登録した番号を除外 するかどうかを設定します

アプリ	システムアプリケーション	制限	
	システムアプリケーション	制限	
	Google バックアップの無 効化	Google バックアップを無効にするかどうかを設定し ます	
	緊急通知の無効化	緊急通知を無効にするかどうかを設定します	
	設定アプリの起動制限 *3	設定アプリの起動を無効にするかどうかを設定します	
	アンインストール禁止リス	ト作成	
	アンインストール禁止リス	ト作成	
	アンインストール禁止リ スト作成	アンインストール禁止リストに登録したアプリをアン インストール禁止にします	
	アンインストール禁止リ スト	アンインストールを禁止にするアプリを管理します	
	アプリの起動制限		
	アプリの起動制限		
	アプリの起動制限 *3	非表示アプリケーションリストに登録したアプリを非 表示または起動制限します	
	起動制限アプリリスト	非表示または起動制限するアプリを管理します	
	インストール許可リスト作成		
	インストール許可リスト作成		
	インストール許可リスト 作成	アプリケーションの許可リストに登録したアプリ以外 のアプリケーションインストールを制限します	
	インストール許可リスト	インストール許可するアプリケーションを管理します	
	Chrome の設定		
	Enable alternate error j すが、Chrome の法人機能に この機能の詳細は Chrome G	pages、Enable search suggestions などを設定できま L関する高度な知識が必要です。 D提供元に問い合わせください。	
リセット	データの初期化制限		
	データの初期化の禁止	データの初期化を禁止するかどうかを設定します	
位置情報	有効設定		
	位置情報設定の有効化	位置情報設定を強制的に有効にします	
	無効設定		
	位置情報設定の無効化	位置情報設定を強制的に無効にします	
	疑似ロケーション制限		
	疑似ロケーションの無効 化 *1	疑似ロケーションの使用を無効にするかどうかを設定 します	

セキュリティ	セキュリティ設定制限	
	SIM カードロックの無効 化 *1	SIM カードロックを無効にするかどうかを設定します
	スタート画面設定制限	
	スタート画面上のカメラ の無効化	パターン、PIN、パスワードで画面ロックを設定時、 画面ロックを維持したままカメラを起動することを無 効にするかどうかを設定します
	スタート画面上のショー トカットの無効化 *1	ロック画面からアプリをショートカット起動すること を無効にするかどうかを設定します
	スタート画面の通知の無 効化	パターン、PIN、パスワードで画面ロックを設定時、 画面ロック中に通知を非表示化するかどうかを設定し ます
	信頼エージェントの無効 化	信頼エージェントによる画面ロック制御を無効にする かどうかを設定します
	スタート画面のプライベ ート通知の無効化	パターン、PIN、パスワード で画面ロックを設定時、 画面ロック中に秘匿化された通知のみを表示するかど うかを設定します
	スタート画面の指紋認証 の無効化	指紋認証による画面ロック解除を制限するかどうかを 設定します
	パスワード設定制限	
	パスワード入力の最大失 敗回数	パスワード入力の最大失敗回数を設定します。 パスワードの入力に指定回数失敗した場合は、端末ワ イプを実行します
	ロックまでの最大時間	画面ロックまでのユーザーの無操作時間を設定します
	パスワードの有効期限	パスワードの有効期限を設定します。 期限が切れた場合はロック解除パスワードの更新を要 求する通知を定期的に表示します
DC Plugin	DC Plugin	
	DC Pluginは、Device Con Device Config Pluginの体 リに依存しますので、Devi 参照ください。 https://www.kyocera.co.	fig Pluginの設定画面を表示します。 P容はソフトのバージョンやインストールしているアプ ce Config Pluginに関する詳細情報は下記ページをご jp/prdct/telecom/office/phone/rd/dcplugin.html

*1 Device Config Pluginの機能を利用するため、機能がサポートされていない端末では動作しない場合があります。Device Config Pluginの機能サポート状況に関する詳細情報は下記ページをご参照ください。

https://www.kyocera.co.jp/prdct/telecom/office/phone/rd/dcplugin.html

- *2 ソフトウェアアップデートの無効化を「オン」に設定しているときにシステムトレイにソフト ウェアアップデートが可能である旨の通知が行われる場合がありますが、アップデートの操作 はできません。
- *3 OS バージョンが 15 以上のモデルでは、設定アプリなどの重要な機能を制限できません。